

本気で取り組む 見小っ子の輝き



1年

うんどうかいでーばんがんばったことは、50メートル走です。2ねんせいがはしっているときから、どきどきしていました。はしっているときのおぼえていないけれど、いっしょうけんめいはしました。おわったら、たのしかったなあとおもいました。

2年

わたしがうんどう会でがんばったことは2つあります。1つ目は、おうえんです。ふりつけや声を大きくすることをがんばりました。2つ目は、50メートル走です。力をぬかずに走りきりました。ダブルゆうしょうで、すごいです。

3年

80m走をがんばりました。今年のとしよう走は、きょ年よりきよりがのびました。それでも一生けんめい走りました。速く走するため、毎日前かがみのしせいから走る練習もしました。けっかは4いでした。とてもくやしかったです。来年は、1いを取りたいです。

4年

わたしは今年の運動会で、80m走に全力で取り組みました。80m走にかけました。スタートでは、前に体重をかけて走り出すようにしました。思った通りの走りができてよかったです。応援では、6年生ががんばっているの、わたしもせいっぱい大きな声で応援しました。来年は、高学年としてがんばりたいです。

5年

運動会では鼓笛が心に残りました。ぼくたちにじいる学年は、夏の間、体育館やグラウンドで汗をだらだらかきながら、足をそろえる練習やすわる練習などをがんばってきました。たくさん練習してきたから、運動会でみんなの前でどうとうと、今までで一番すばらしいえんそうをすることができました。みんなで楽しくえんそうできてうれしかったです。

例年以上に感動を得た運動会

体育主任

秋晴れの中、延期等もありましたが、無事に運動会を開催することができました。コロナ禍の中で例年通りの開催とはいきませんでしたが、その中でできることを大人と子どもと一緒に考えて、作り上げていきました。今年は、6年生によって運動会プロジェクトを組織しました。コロナ禍の中でもできることを考え、工夫を凝らしていく子どもたちに大きな成長を感じました。応援団長が最後の話の中で、ついてくれた全校の子どもたちへの感謝の言葉を述べていましたが、それは、運動会をより良いものにしようとお気になつて考え、全校をまとめ上げることができたからだと思います。その苦労があった分、運動会を終えた後の感動は例年以上のものとなりました。そんな感動を与えてくれた子どもたちと、開催に向けご尽力いただいたすべての方々へ感謝です。

6年

今年は、小学校生活最後の運動会でした。でも、徒競走のみの運動会になりました。それでも、自分たちで企画し、運営した運動会は特別なものになりました。W優勝はできなかったけれど、6年間で一番心に残る運動会になりました。

全力でやり切った運動会

白組応援団長 6年

今年の運動会は、全力でやり切ることを目標にがんばってきました。私は全力でやり切ることが「見小魂」だということを感じました。応援合戦も競技も全力を出し切れたので最高の運動会になりました。

力を出し切った運動会

赤組応援団長 6年

赤組の応援団は、休み時間も全力で応援練習をしてきました。本番では、練習してきたことを発揮して限界まで応援をしました。その結果、W優勝を取ることができました。最高の思い出になりました。



心を合わせる喜びを

応援団統括

今年度の応援団は、これまでとは違って6年生だけで組織しました。全校で集まったの応援練習も多くはできませんでしたが、多くの制限があつた中でしたが、その分、子どもたちのアイデアが多く出され、練習を工夫する子どもたちの姿がありました。学校生活の中で、何百人もの子どもたちで、心一つにできる機会は、考えてみるとそんなに多くはありません。子どもたちには、心を合わせる喜びを感じ、思いっきり楽しんでほしいと言葉をかけました。当日は、心一つにした熱い応援、一生懸命な子どもたちの目、表情を近くで見ることができ、本当に胸が熱くなりました。素晴らしい姿を見せてくれた子どもたちに感謝しています。最後になりましたが、子どもたちの頑張りを支えてくださった、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

